



はじめてとらきち君からの手紙を読む方へ、はじめ君は店長の初孫です。多少の可愛いがりすぎは、お許し下さい。



はじめ君、やつとインフルエンザにかかりました。やつとと言うのは、ちっちゃいうちに早く、できれば軽く罹患した方がいいのです。はじめ君の体の中の免疫は、一度罹ったウイルスを覚えてますから、応用しながら例え違う種のウイルスが来ても、ちゃんと闘ってくれます! まあ、ふだんからコンクレバンに輝源を混ぜた、はじめ君に言わせると「おいしいあれ」を毎日飲んでますから…熱も38℃くらいですって。闘ってくれてます。どうってことないです。

娘から「タミフル出たけど、飲んだ方がいい?」と電話。「高熱が出て食欲落ちたら使えばいいし、元気でいつも通り食欲あったら、多少熱があったって、タミフルはやめた方がいい。ルミンAはいつも通り1粒、輝源は20mlに増やしてね!」と言いました。案の定、翌日には熱は平熱になり、タミフルはゴミ箱行き。保育園はしばらく出入り禁止なので、今日はオノドラで預かりました。でも、飛び跳ねて遊んでました(*^_^*)

今の医療の中心は、西洋医学の対症療法が中心です。広辞苑でも、比喩的表現として、「根本的に解決にならない当面の方策の意」とあります。治すのではなく見た目の症状を抑えるだけです。この世に化学物質で作った薬で治す物はありません。体力があり、免疫力のある若い人ならともかく、お年寄りに「早めのパブロン」なんてとんでもない! 「早めの葛根湯」「早めの生姜湯」ならわかりますけど…。

見た目という、高血圧学会が決めた数値があります。上の血圧が130、下の血圧が85を越えたら治療対象。20才の人でも80才の人でも基準値は同じ。小学生でも「これって変じゃない?」と思うのでないでしょうか! ?今の健康に対する基準値は、健康人を病人にする数値ばかりです。



血圧降下剤「ディオバン」の論文改ざん問題は、最近の事件です。製造元のノバルティスファーマの社員が臨床研究に加わって、データを改ざん。論文を発表した京都府立医科大学の研究チームには、ノバ社から1億円の奨学寄付金が流れていました。利益相反といえます。

健康? 基準値を決める、先の高血圧学会、動脈硬化学会、その他の学会も製薬会社からたくさんのお金をもらっている、偉い? 先生達が決めています。

2010年日本人間ドック協会の資料によると、異常なしと言われた人は、わずか9.6%で1割もいません。特に60歳以上の中高年者では、男性3.2%、女性4.6%です。病人だけを集めた検査ならまだしも、わざわざ病人になるために人間ドックを受けるようなものです。ちなみに、要治療と宣告されるベスト3は1位高血圧 2位高コレステロール 3位高血糖です。いずれも基準数値に問題があり、一生薬を飲みなさいと言われる病名ばかりです。

先日「高血圧心配症ですよ」の著者で内科医の松本光正医師の講演を聴いてきました。が、「今が最良、体がやっていることで悪いことはない」と断言します。例えば、熱や血圧が上がる時は理由があつて上げている、体の中で最良の状態を作ろうとしている最中。だから、むやみに医者にかかったり、薬を飲んだりしてはいけない。と言っています。

飲む薬が無害で、長生きできる確証があればまだしも、「血圧の薬を飲むと認知症の発症率が2倍」東海大学大槲教授や「コレステロールの薬は「うつを発症し、自殺傾向に陥る」順天堂大学奥村教授の論文もあります。誰のための薬なのでしょう? 松本医師は患者さんから「健康でいられるにはどうしたらいいでしょう?」と質問をされたときの回答は「病院に行かないことです」と言われるそうです(笑)

私達は、今こうして生きていくこと自体が奇跡なのです。多少のことは気にしないで、笑っているのが一番ですネ! 笑えないときは、笑いヨガがありますよ(*^_^*)